

団交再開で話し合い

水俣騒動 漁民はビケ解かず

十八日午前六時三十五分水俣駅発
ダイヤルカーで寺本県知事に新
日興水俣工場と同漁協問題の実情
報告に行った湖上同漁協組合長

ら漁民六人、中村市長、深水、長
野県農協は同日午後四時二十分
水俣駅着列車で帰ったが、新日興
正門前や尚和会館前に一行の帰りを
待ちあそばせていた漁民たちは早
速一行の話を聞いた。

このあと湖上組合長は「警備隊
の暴力はわれわれの正当な闘いの
に対する不法行為だ。寺本知事
も何とかくしてこの問題を解決し
なければならぬ、地元としても
総力を結集して解決を求めたい
と語った。問題が長期にわたる
ことであり暴力なき結束の

もと事をはこびたいと思つた
のだが今回の警備隊の行動はま
ことに不祥事件といわなければ
ならない」と語った。

さらに中村市長から警備隊の実
力行使に対しては「私としても
柿山署長に強く申入れを行なう
今度の事件は水俣はじまつて
以来の重大不祥事件で二日も早く
解決したい」と語り、長野県農
協組合長が結束して解決を
求め、われわれも努力をおしま
ない」とそれぞれあいさつした。

このあと午後六時から市議会議長
室で中村市長、石原助役、湖上漁
協組合長、長野県農協関係者が集
まり対策委員会を開いたが、漁民
側は新日興本社が油田業務が十九
日果水するので同業務を加えた団
交を再開するまではビケを解かな

いと述べた。

いっぽう市側から二町漁民はビ
ケを解いて平穏な代表だけの団
交を行なつてはどうかとの提案
が出されたが漁民内部の意見が
まちまちで話し合いは難航をつづ
けた。

同十五時十五分、対策委員会を終り
中村市長、石原助役、深水、長
野県農、上田、五島市議ら九人の
あつた委員に組合側が「あくまで
ビケをほつたまま団交を再開して
もらいたい」と伝えた。あつた
委員は直ちに工場側と話し合いをつ
づけたが、十九日午前二時現在、
結論はなぞ見出せない状況である